

事業番号	07 04 01	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	■点検
事業名	持続的成長を実現する新価値創出事業	部局	産業労働部	課・室	産業技術課	
		実施期間	T7 ～	E-mail	sangi @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

県内製造業は、これまで「成長期待分野」への進出や「技術の高度化」等による価値創出に重点的に取り組んできたが、今後も持続的に成長していくためには、これらに加え、「新たな顧客価値」の創出に取り組むことが必要。

2 事業目的

県内製造業による以下の事業活動を支援することで、獲得した収益により新たな価値を創出し、新たな収益を生み出す好循環につなげ、持続的な成長を実現する。

- ・新たな価値を生み出すセグメント、技術、業界、企業等の既存の枠組みを超えた「クロスイノベーション」の創出、成長期待分野への進出支援の継続
- ・「技術の高度化」等のものづくりにおける基本価値を高める高品質・高信頼性の製品づくり

3 事業目的を達成するための取組

- ①クロスイノベーションを通じた、新たな価値の創出活動を支援
- ・イノベーション創出のため、産学官の連携や新技術の活用などにより、製品開発等のプロジェクトを推進
 - ・新たな価値の創出を加速するため、大学などと連携した国等の大型プロジェクトを獲得及び推進
 - ・健康・医療、次世代交通、環境・エネルギーなどの成長期待分野への参入等促進のため、試作開発に対する補助等を実施
 - ・県内企業の環境対応やEVシフトへの対応支援を実施
- ②工業技術総合センターによる高品質・高信頼性製品づくりの支援
- ・県内企業の製品評価などに関する技術・知見の向上を支援するため、技術相談や依頼試験等を実施
 - ・時代の要請に応じ、各種分析・評価技術の高度化を図るため、支援機能を強化する機器を整備

4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移		
①-1	クロスイノベーションによる新たな価値創出の支援件数	件	-	59	↗	126	↗	100	産業振興プランにおいて5年後の目標を累計250件(毎年度50件増)と設定
①-2	上記支援による事業化件数	件	-	-	-	6	↗	5	産業振興プランにおいて5年後の目標を累計20件(事業化の発現に要する期間を考慮し、2年目となるR6年度から各年度5件)と設定
②	技術相談件数 (工業技術総合センター技術相談件数)	件	19,010	18,333	↘	18,688	↗	19,000	R5年度と同程度の支援水準を確保することを踏まえ、R5年度見込値を目標として設定

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (☆印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	製造業の従業者一人当たり付加価値額(2020年比)	%		-		-		-	2025(R7)	11
2-2①	循環経済への転換の挑戦	工業技術総合センター等による環境・エネルギー分野の支援件数(2023～2027年度の累計)	件		-	2023(R5)	100	2024(R6)	202	2027(R9)	200
2-2①	循環経済への転換の挑戦	工業技術総合センター等による環境・エネルギー分野の支援による事業化件数(2023～2027年度の累計)	件		-	2023(R5)	3	2024(R6)	7	2027(R9)	10

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	0	755,960	22,710	778,670	403,549	666,963	122.0
R5年度	0	716,678	△ 6,672	710,006	339,417	673,855	120.0
R4年度	150,000	667,540	22,350	839,890	333,115	776,337	121.0

事業番号	07 04 01	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）				□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	持続的成長を実現する新価値創出事業			部局	産業労働部	課・室	産業技術課		

7 主な取組実績と成果

①クロスイノベーションを通じた、新たな価値の創出活動を支援

- ・産学官の連携による技術導入や技術開発プロジェクト等を31件推進
- ・大学などと連携した国等の大型プロジェクトを9件推進
- ・医療機器分野9件、次世代交通分野3件、環境・エネルギー分野7件の県内企業による試作開発を補助金等により支援
- ・新技術分野や技術の高度化に関する研究会・勉強会を8件運営

②工業技術総合センターによる高品質・高信頼性製品づくりの支援

- ・公設試験研究機関として、従前から研究職員による技術相談、設備利用、依頼試験、共同・受託研究等により、製造業を中心に、県内企業の事業活動を支援

令和6年度の支援件数は、技術相談（一般・現場）18,688件、依頼試験28,291件、施設利用（機器貸付）11,017件

- ・県内製造業の高品質・高信頼製品づくりに必要な技術支援機能を強化するための機器整備を実施（新規整備機器 3件）

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①-1	クロスイノベーションによる新たな価値創出の支援件数	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	達成
工業技術総合センターや、（公財）長野県産業振興機構を通じた積極的な支援施策の遂行により、支援件数は順調に推移している。							
指標 ①-2	上記支援による事業化件数	R5年度推移	-	R6年度推移	↗	達成状況	達成
（公財）長野県産業振興機構による伴走支援や工業技術総合センターによる技術支援等が奏効し、令和5年度に支援した案件のうち6件を事業化することが出来た。							
指標 ②	技術相談件数（工業技術総合センター技術相談件数）	R5年度推移	↘	R6年度推移	↗	達成状況	未達成
技術相談件数は18,688件（対前年度比+355件）となった。この要因として、人手不足傾向の中で生産に人手を割かれたために減少していた小規模事業者からの新規開発案件等に係る相談数が回復してきたことなどが考えられる。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・クロスイノベーションを推進するための技術開発・事業化支援については一定の成果を上げつつあるものの、持続的な成長を続けていくためには、引き続き異業種間での情報共有や連携のきっかけづくり、産学官連携による技術支援等の取組が重要
- ・工業技術総合センターについては、技術相談件数が増加傾向にあるが、人的・技術的リソースの確保が課題

(2) 事業改善の方策

- ・支援施策説明会や企業ヒアリングによるニーズの深掘などを通じて支援機会を拡充し、企業や大学等との接点を増やすことで産学官連携によるクロスイノベーションの推進を図っていく。
- ・工業技術総合センターにおいては、引き続き業務の見直しや効率化に取り組むことで技術支援機能を強化し、新たな価値の創出につなげていく。

事業番号	07 04 01	細事業一覧（令和6年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	持続的成長を実現する新価値創出事業			部局	産業労働部	課・室	産業技術課	

細事業 No.	細事業名			R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	産学官連携推進事業			60,933 千円	42,160 千円	39,263 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	イノベーション創出事業	補助金	（公財）長野県産業振興機構が主導し、支援機関等の力を結集して、産業イノベーションの創出に向けたプロジェクトを推進			
			プロジェクト推進件数 15件			
2	産学官連携技術開発推進事業	直接 委託	工業技術総合センターが産業界からのニーズ対応及び産業界への大学等の研究シーズ展開のための技術開発プロジェクトを実施			
			技術開発プロジェクト推進件数 7件			

細事業 No.	細事業名			R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
2	信州医療機器事業化促進・グローバル展開事業			67,151 千円	64,603 千円	63,312 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	信州医療機器事業化促進・グローバル展開事業	補助金	信州大学等の関係機関と連携し、医療機器の開発・事業化と医療機器開発人材の育成等を支援			
			コーディネータ・アドバイザ支援件数78件、医療機器開発・事業化支援件数10件			

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
3	航空機産業振興事業		37,909 千円	35,323 千円	30,638 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	航空機システム産業振興拠点運営事業	直接 負担金	「航空機システム産業振興拠点（エス・バード）」に拠点マネージャーを配置し、各種事業を効果的に推進するとともに、人材育成から研究開発、実証試験、産業化までを一貫支援		
			航空機システム産業振興に資する取組の企画・実施件数 3件		
2	航空宇宙産業クラスター形成事業	直接 補助金	「NAGANO航空宇宙産業クラスターネット」を通じて、技術・製品開発や開発人材の育成等を支援し、航空機システム拠点形成を促進		
		委託	コーディネータ支援件数 130件、技術・製品開発支援件数 3件		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
4	ゼロカーボン関連技術開発等促進事業		68,887 千円	74,531 千円	68,197 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	ゼロカーボン技術事業化促進事業	補助金 委託	研究会活動を通じ、ゼロカーボンに向けた技術開発プロジェクトを創出するとともに、県内企業による新たなゼロカーボン関連技術の開発を補助金により支援		
			研究会の設置・運営件数 4件、補助金による技術開発支援件数 7件		
2	カーボン排出量可視化・削減支援事業	直接 補助金	製品ライフサイクル全体のカーボン排出量の算定・可視化とカーボン排出量削減のための取組を支援		
			カーボン排出量可視化支援件数 60件、削減支援件数 9件		

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
5	EVシフト・海外展開支援事業	- 千円	9,053 千円	5,942 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	EV関連産業クラスター形成促進事業	直接 委託	従来車とEVの構造や設計思想に係る知見を蓄積するためEVの構造分析、分解調査にかかる研修会等を開催し、県内企業によるEV関連部品の開発を促進 EV分解・部品調査研修会 1件	

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
6	DXソリューション提案事業	24,845 千円	10,017 千円	9,838 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	DXソリューション提案事業	直接 委託	AI・IoT化及びデジタル化そのものではなく、これらの先端技術により収集したデータの効果的な活用を促進し、県内製造業の競争力及び課題解決力の強化に向けた取組を推進 DXソリューション提案件数 6件	

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
7	特許情報利用促進事業	4,458 千円	4,458 千円	4,458 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	特許情報利用促進事業	補助金	（一社）長野県発明協会が設置する知財総合支援窓口の運営を補助し、相談対応を支援 窓口相談件数 3,846件	

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
8	工業技術総合センター技術支援機能強化事業	385,234 千円	433,710 千円	445,315 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	工業技術総合センター運営費	直接	・県内企業からの技術相談や依頼試験、施設利用に対応 ・営繕工事により工業技術総合センターの設備改修・更新を行う（電磁環境試験棟アンテナ等更新工事、306号室中央実験台交換工事） 技術相談件数 18,688件	
2	機器整備事業	直接	工業技術総合センターに、支援機能を強化する機器を整備 新規整備機器件数 3件	
3	特別研究事業	直接	工業技術総合センターが保有する実用化の可能性が高い技術シーズを育成し、産業創出を促進 研究実施テーマ件数 3件	